

## 目的

消防防災学科を有する韓国ソウル市立大学の教授、及び研究者の来日を機に、火災科学研究センター関係者と、両国における最近の火災や災害をめぐるトピックや課題を議論する。また、国際セミナーを開催し、国際火災科学研究科大学院生を聴講生に含め一般公開する。

実施日 2014年7月24日(木)～25日(金)

招聘者及び参加者 (15名程度)

Myong-O Yoon (ソウル市立大学教授)

Seung-Hee Ham (同大学研究員)

ソウル市立大学 関係者 5名程度

関澤 愛 (総合研究機構 教授)

辻本 誠 (火災科学研究センター長)

大宮 喜文 (理工学部 教授)

水野 雅之 (火災科学研究センター 准教授)

他 火災科学研究センターメンバー

## スケジュール

7月24日(木)

午前 ソウル市立大学関係者 来日

14:00 神楽坂キャンパス着

14:30-17:00 交流行事 (PORTA 神楽坂第3会議室)

挨拶、相互メンバー紹介

両組織の現況報告

ソウル市立大学 消防防災学科 Prof.Myong-O Yoon

火災科学研究センター (国際火災科学研究科) 辻本 誠教授

両国における最近の火災や災害をめぐるトピックや課題報告

今後の両組織の情報交換、交流計画について

防火技術者職能教育の進め方、課題など

講義科目、授業方法について

18:00-20:00 交流会 (神楽坂近辺を予定)

7月25日(金)

10:00-12:00 葛飾キャンパス見学 (辻本教授同行、または広報課で補助)

12:00-13:00 昼食

14:30-17:00 国際セミナー 講師 Prof. Myong-O Yoon (神楽坂 132 教室)

テーマ (仮題) 「地下に建設される火力発電施設の火災リスクアセスメント」

または 「21名の死者を出した療養病院火災の報告と防火の課題」

7月26日(土) 帰国

以上